

登録コード	A3594378	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究Ⅰ					担当教員	城田 徹央	
英文授業名	Thesis ResearchⅠ							
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	造林学に関する専門的な知識や研究能力を修得している。	
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	地球温暖化など国際問題を背景に造林学の地域課題を抽出し、解決する能力を有している。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	造林学に関する専門的な知識や研究能力を基礎として、情報を収集・統合し、発信できる能力を有している。	
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	地球温暖化など国際問題を背景に造林学の地域課題を抽出し、解決する能力を有している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	テーマを与えますので，それに叶った論文を収集し，内容を紹介して貰います。このとき独自のプレゼンテーションを作成し，短時間で内容を伝えてもらいます。また，毎週のゼミで4年生や院生のプレゼンに対する質問を必須とします。							
(5)授業計画	ほぼ毎週です。最終週にアンケート調査を実施します。							
(6)自主学習の指針	邦文英文を問わず情報収集に努めてください。							
(7)成績評価の基準	体系化された知識の集積，関連した知見の整理，プレゼンテーション技術							
(8)事前事後学習の内容	ほとんどの作業は事前事後学習になります。プレゼンテーションと質疑応答が講義内容になります。							
(9)テストやレポートの予定	ありません							
(10)成績評価の方法	受講態度およびプレゼンテーションおよび質疑応答の能力を総合的に判定します。 出席が2/3に満たない受講者および締め切りを遵守しない受講生には、単位を認定しません。 評価基準： S：90-100，A：80-89，B：70-79，C：60-69，D：59以下							
(11)質問、相談への対応および連絡先	shirota@shinshu-u.ac.jp 面談が必要な場合はアポイントメントをとってください。							
(12)履修上の注意	特になし							
【教科書】	特になし							
【参考書】	テーマに応じて適宜指定します。							